

E お手入れ方法

いつまでもご愛用いただくために、日頃のお手入れは次のことに注意してください。

- ◆御使用後は本体に水滴が残らないように乾拭きをして下さい。
 - ・汚れがひどい時は適度に薄めた中性洗剤でお手入れし、洗剤が残らないように洗浄して下さい。
- ◆水栓の表面を傷つけるおそれがある次のものは使用しないでください。
 - ・磨き粉等の粒子を含んだ洗剤（研磨剤入り洗剤）
 - ・シンナー、ベンジン等の溶剤、酸性洗剤、塩素系漂白剤
 - ・ナイロンたわし、ブラシ等

F 安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によっては重大な結果（傷害・物損）を生む事柄です。安全に関する重要な内容を記載しておりますので必ず守ってください。

用語および記号の説明

注意 …… 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか物的損害が発生する危険な状態が想定されます。		…… 「指示した場所に触れてはいけません！」
…… 「注意してください！」上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。		…… 「指示通りにしてください！」（一般的な行動指示記号です。）
	…… 「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）	

使用上の注意事項

注意	
高温の湯をお使いの時には吐水口は高温になっています。直接肌を触れないでください。やけどをするおそれがあります。	本製品と同時に他の水栓設備を御使用になる場合は、水圧変化により高温のお湯が出る場合があります。やけどをする恐れがありますのでご注意ください。
高温の湯をお使いの後は器具内に高温の湯が残らないようにしばらく水を流してください。次に使用すると器具内に滞留した高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。	（寒冷地で御使用の場合）凍結が予想される際は配管の水抜操作と水栓金具の水抜操作を行ってください。凍結破損で漏水し家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
湯を止める時は必ず湯側のハンドルから閉めてください。次に使用すると器具内に滞留した高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。	急なハンドル操作は配管からの漏水を起こす事がありますのでゆっくり操作してください。漏水で家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
湯をお使いになる時は、必ず水側から開栓してください。その後徐々に湯側を開栓し、好みの温度に調節してください。湯側を先に開栓すると高温の湯が吐水し、やけどをするおそれがあります。	●漏水した場合の処理 漏水した場合は元栓または止水栓を閉めてください。ポンプをお使いの場合はポンプを止めてください。修理に関しては必ず専門の業者に依頼をしてください。

G 修理を依頼される前に

異常を感じたら修理を依頼される前に下記の事項をご確認ください。次の事項をご確認をされても直らない場合は、取付工事店または当社までご相談ください。

現象	調べて頂くところ	処置
・吐出量が少ない。 （少なくなってきた）	1. 吐水口先の金具にゴミや水アカがつまっていないか？ 2. 止水栓を絞り過ぎていないか？	A B-2
・温度調節がうまくいかない。 ・水、または高温の湯しか出てこない。	1. 吐水口先の金具にゴミや水アカがつまっていないか？ 2. 止水栓が付いている場合、湯または水の止水栓を適度な状態に調整する	A B-1 B-2
・水の量が多すぎて使いづらい。また使用時に高い音がする。	1. 止水栓が付いている場合、止水栓を適度な状態に絞る。	B-1

処置A 吐水口先端の金具を洗浄する。	処置B 止水栓（流量）を調節する。
<p>2バルブタイプ混合栓の場合</p>	<p>B-1. 止水栓を絞る B-2. 止水栓を開ける</p>

リライズ**施工・取扱説明書****DORN
BRACHT**

1穴型シングルレバーキッチン用混合栓
1穴型2バルブキッチン用混合栓

該当品番					例外商品
21.024.360.xx◎	22.021.360.xx◎	33.800.888.xx	33.815.888.xx	33.526.670.xx	
	22.021.470.xx	33.800.889.xx	33.815.889.xx		
	22.021.892.xx	33.810.888.xx			
	22.815.892.xx	33.800.790.xx◎			

品番末尾に◎マークがついているもの：台座がありません。

A 施工方法

◇本製品が十分に機能するように、この施工説明書の取付手順に従って作業を進めてください。

◇この説明書に記載されていない方法で施工が行われ、それが原因で故障等が発生した場合は、製品の保証にはいっさい応じかねます。

◇施工完了後必ず通水試験を行い正常に機能することを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法及びお手入方法を説明してください。またこの説明書はご使用になるお客様にて保管して下さい。

B 使用条件

■ 推奨使用水圧 0.25 MPa～0.5 MPa

□ 最低使用水圧 0.15 MPa

□ 最高使用水圧 1.0 MPa

□ 最高使用温度 80℃

※ 給水圧力が0.5 MPaを超える場合は、減圧弁などで推奨水圧まで減圧して下さい

製造

**DORN
BRACHT**ドンプラハ社
(ドイツ)

販売

株式会社 **リライズ**〒160-0023
東京都新宿区西新宿6-6-3
TEL : 03-5909-0502～4
FAX : 03-5909-0518

2019.11

C 取付手順

1. 取付寸法の確認

取付穴径はφ35となります。
・右図参照

2. 給水管内の清掃

配管工事後、必ず給湯・給水管内のごみなどを十分に洗い流してください。

3. 部品確認

・右図参照
※台座を含まないものもあります。(表紙参照)
※レバーハンドルが別品番となるものもあります。(表紙参照)

4. 本体の固定

右図のような順番で、各部品を装着し、最後に⑥締付ナット(対辺13mm)で固定します。

！ 実行

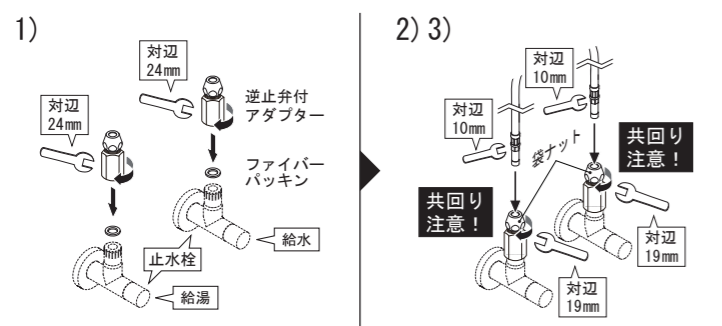
締付ナットで水栓本体を固定する際、水栓本体の中心と取付穴の中心を合わせた位置で取り付けてください。

5. 本体と止水栓の接続

- ⑧逆止弁付アダプターを止水栓に取り付けます。必ず⑨ファイバーパッキンを使用してください。
- 水栓の⑦フレキホースを、逆止弁付アダプターの奥まで確実に差し込みます。
- 最後に⑧逆止弁付アダプターのナットを締め付け、フレキホースを固定します。

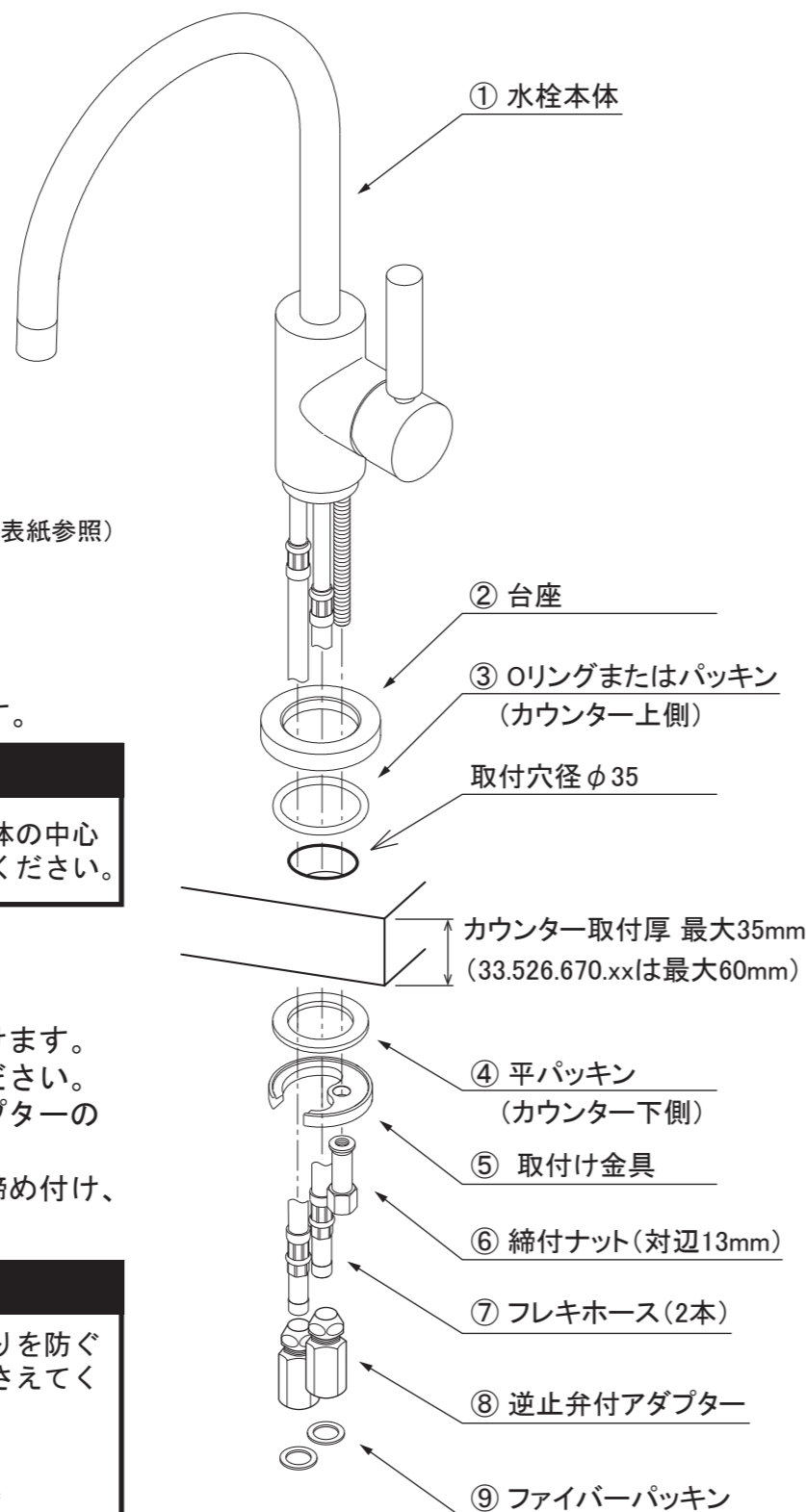
！ 実行

逆止弁付アダプターを締め付ける際は、共回りを防ぐため、必ずフレキホースの六角部も工具で押さえてください。

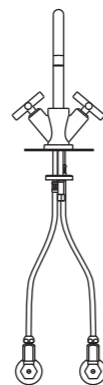


！ 実行

- 各部品の接続や取り付けは、必ず工具を使用して確実に締め付けてください。
- 締付不足や締付過剰とならないようにしてください。
- 接続作業後に、必ずフレキホースを上引っ張り、抜けないことを確認してください。



理想的な状態



！ 注意

ホースが無理にねじれたり折れ曲がったりしないように接続してください。

！ 注意

給水・給湯フレキホースの曲げ直径は70mm以上としてください。

R= 最小70mm

6. 通水確認

止水栓を開いて器具に通水し、正常に作動することを必ず確認してください。また、吐水時に各接続部からの水漏れがないことを確認してください。

※ 水漏れしている接続部がある場合は、該当する取付手順を参照しながら、接続方法および各部品が正しく使用されていることを確認してください。

！ 実行

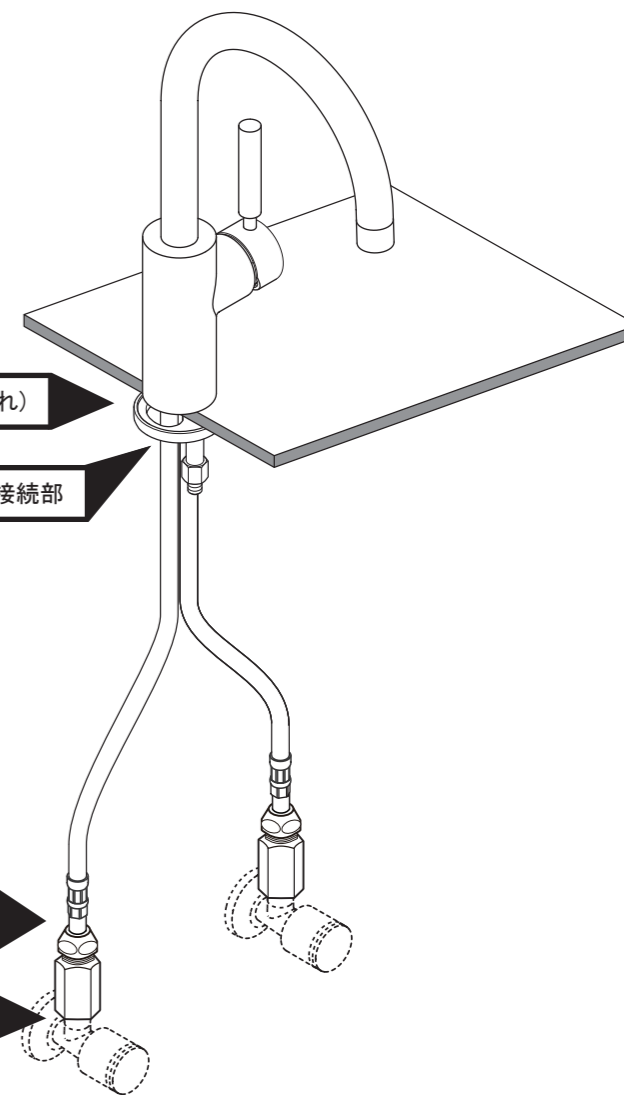
下記の部位から水漏れしていないことを必ず確認してください。

！ 本体とカウンターの境目(カウンター裏への水漏れ)

！ 本体底面と給水・給湯フレキホースの接続部

！ 給水・給湯フレキホースと逆止弁付アダプターの接続部

！ 逆止弁付アダプターと止水栓の接続部



D 使用方法

外観図

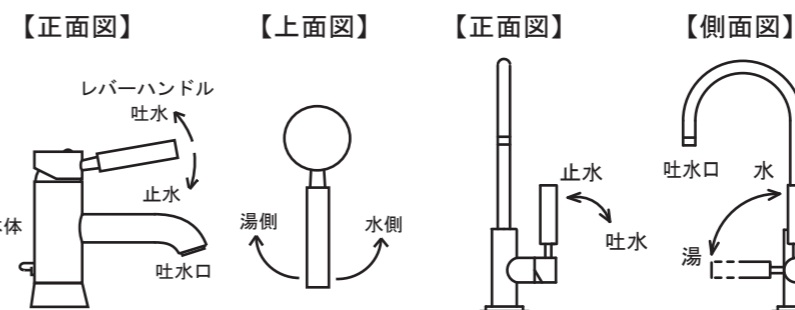


図2-1: レバーハンドルタイプ

図2-2: シングルレバー横形タイプ

ご使用方法

◆湯水開閉栓(水量調節・温度調節)
レバーハンドルタイプはレバーを上げると吐水し、下げると止水します。また、レバーを左方向へ回すと湯側、右方向へ回すと水側に調整が出来ます。(図2-1, 参照)
シングルレバー横型タイプはレバーハンドルを横方向に倒すと吐水、垂直にすると止水となります。
また、レバーハンドルを垂直に立てた状態で水側となり手前側に倒した状態で湯側に調整が出来ます。(図2-2, 参照)
ポップアップレバー付きの場合はレバー引くとポップアップの栓が締まり、元に戻すと栓が開きます。